

高速データベース Vectorwise の新バージョンが登場

～パフォーマンスと管理機能を高めたビッグデータのための分析データベース

Vectorwise 2.5 が Actian 社からリリース ～

Actian 社 (旧 Ingres 社) は、数々の記録を塗り替えている高パフォーマンスのデータベース Vectorwise の最新バージョン、Vectorwise 2.5 の一般向けダウンロードが可能になったことを発表しました。ビッグデータに対応するため、従来よりも更に各種の機能を拡充し、データを効率的に分析し、それをビジネスチャンスにリアルタイムで活用することができるよう、一層の使いやすさと、より高いパフォーマンスを追求しました。

「2 年ほど前にマーケットに登場して以来、Vectorwise はデータの持つ隠れた意味を分析し、それをビジネスに活かすため、大きな進化を遂げてきました。ビジネスはものすごい速さで変化し、様々な IT ソリューションが提供されています。それに対応し、Vectorwise は TPC-H のベンチマークの記録を次々と塗り替え、業界ベストのスピードと経済性を実現することにより、継続的な革新を続けています。」と Actian 社の Vectorwise 部門、ジェネラルマネージャの Fred Gallagher は言います。

Vectorwise 2.5 は既存のデータベースより少ないハードウェアで、より速いパフォーマンスを実現します。新機能、Predictive Buffer Manager は同時クエリーのパフォーマンスを更に高めました。また、In-memory Update 機能の粒度レベルを更に詳細にすることにより、従来以上に高速かつ効率的なデータ・インサートとアップデートが実現しました。一方、Parallel Execution 機能は複数の CPU コアの潜在能力をフルに引き出し、様々なタイプのクエリー・パフォーマンスを一層アップさせました。

更なる使いやすさを実現するため、Vectorwise 2.5 は、データを複数ファイル、複数ロケーションに格納することが出来るようになりました。Flexible Storage Management 機能により、データを物理的に異なった複数のロケーションに置くことができます。それにより、ディスクスペースが十分でないとき、頻繁に使用されるデータは高速ディスクに置いて高速アクセスを確保し、頻繁に使用しないデータはストレージの使用をコントロールするなどができるようになります。更に、Vectorwise 2.5 では、従来よりも数多くのキャラクターセットをサポートする自動翻訳機能を備え、他言語サポートを充実させました。

Vectorwise 2.5 では、Vectorwise と Ingres Database 両方の旧バージョン、最新バージョンをサポートし、GUI で操作できる Java ベースの新しいツールである統一管理コンソール、Actian Director が一緒に提供されるようになりました。この新しい Java ベースのツール

は、Linux と Windows で稼働し、単一コンソールから複数環境のデータベースの統一管理が出来るといった柔軟性を備えています。

【本内容は、米国 Actian 社が 2012 年 6 月 5 日に発行したプレスリリースの翻訳です。】